

かわさき区の宝物シート

宝物No.	やかたぶね
16-3	屋形船

やかたぶね 屋形船



昭和30年頃の長八河岸(上)と長八橋銘板

写真提供：船宿 長八／倉形泰造氏

エリア	大師地区	シーズン	夏・冬
	塩浜・夜光	日時	

目的	<input type="checkbox"/> 観る	<input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input checked="" type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代的な文化的なもの	<input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり
	<input type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物

所在地	川崎区塩浜3-19-3
問い合わせ	船宿 長八 (長八海運(株))
TEL	044-266-3128
FAX	044-276-4044
E-mail	yoyaku@chohachi.co.jp
URL	http://www.chohachi.co.jp/
交通	JR川崎駅より送迎バスあり



基礎情報

■京浜工業地帯の一角、夜光運河にある船宿。長八棧橋から出船する計4隻の屋形船による風情あふれる周遊コースが魅力。「横浜ベイブリッジコース」「東京お台場コース」「隅田川コース」の3コースが用意されている。所要時間は3時間。

■周遊コースの料理は、天ぷら、刺身、おにぎり、味噌汁などがひと通り揃い、お酒とソフトドリンクは飲み放題。料理とお酒に舌つづみを打ちながら、ひとときの屋形船の旅が満喫できる。カラオケも完備し、新年会や忘年会、歓送迎会、お花見、花火大会鑑賞などに最適。

由来・エピソード

■長八では釣り船の営業も行っており江戸前の魚釣りが楽しめる。乗合船は7時30分出船、16時帰港。東扇島沖の全長3,340mの長大な防波堤「川崎新堤」は潮通しのよい好漁場として評判が高い。貸し竿、貸し道具も完備し、仕立て船(10名～)や天ぷら船(15名～)あり。また、年間を通じて東京湾遊漁船協同組合主催の白キスやカレイ等の各種江戸前つり大会が開催されており、長八でも随時参加を募集している。

■夜光地区がまだ埋め立てられる以前、大師の海の家養殖がまだ全盛だった頃、現在の道路あたりが海岸線で付近は「長八河岸」と呼ばれるベカ舟の溜まり場となっていた。現在の川崎ゴルフセンター(練習場)の辺は長八瀬と呼ばれる入り江が入りこみ、上には長八橋が架かっていた。この橋の名をとって戦後の昭和25年(1950)に海苔養殖の傍ら釣り船の営業をはじめたという。昭和47年(1972)の漁業権放棄後は釣り船、屋形船のみの営業となった。長八海運として港湾工事関係にも従事している。

■川崎ゴルフセンターは漁業権放棄時の漁業者の転業支援のためつくられた施設であり、陸にあがった漁業者たちによって共同経営が行われた。

補足・その他

- 年中無休。周遊コース1名10,000円(20名以上)
- 釣り船4隻、屋形船4隻(50人乗各1隻 70人乗2隻)
- 川崎駅・鶴見駅との無料送迎専用大型バスあり(40人乗、時間その他応相談)。

関連シート

- (19-1)「川崎漁業ゆかりの地」碑
- (19-3)川崎の海苔づくり資料室